

かがやき



「知ることは力」 ～ 知ることが大切です ～

菊竹祭から、早いもので10日ほどが過ぎました。今週は給食時の校内放送で、録音された上級生の合唱を聞きました。特に、三年生の歌声には、これまで歩んできた自信や、仲間を思う気持ちが込められていて、感動的でした。そんな三年生たちは、最後の大きな行事を終え、この後、いよいよ本格的な受験シーズンへと突入していきます。一年生の皆さんには、まだ先が長いように思えるかもしれませんが、中学校の三年間は実にあっという間です。小学校とは、さまざまな点で異なる中学校ですが、一番の違いは、「卒業後の進路を、自ら選択していく」ということでしょうか…。



皆さんの前には、無数の道が広がっていて、どの道を行くのか、その中の一本の道を決定していくのです。

さて、少し難しい話になります。「進路」と「進学」という言葉がありますが、この二つの言葉は似ているようで、違う意味をもっています。漢字のとおり、「進路」とは、「進むべき路」であり、「進学」は、「進む学校」を指します。

皆さんは、これからの日々で、進路を選択します。「〇点ぐらいだから□□高校」と単純に決めるではありません。

自分の将来の姿を思い描き、そこに到達するためには、例えば、どんな資格が必要なのか？どんな知識や技術を身に付ければよいのか？ということを知り、では、高校はどこがよいのかというようにして決定していくのです。



今はまだ、将来に具体的な目標をもてなくても、次のようなことからはじめていきたいものです。

- ①自分という人間を知る。具体的には好きなことや興味のあることを考えてみる。
- ②自分の特性(得意なことや長所)を知る。例えば、手先が器用だとか、粘り強いとか…。
- ③様々な職業を知る。皆さんが今知っている数百倍もの数の職業があり、働く人がいて、社会は成り立っています。

「知ることは力」になります。学校でも、このあと、進路について学習したり、職業調べを行ったりしていきますが、どうぞ、自分の将来に大きな関心と希望をもち、日々を大切に歩んでほしいと願います。

裏面には、今年度の『県立高等学校の前期選抜募集定員と自己推薦となる特色選抜の定員枠』の記事を掲載しました。現在の県立高等学校は、3月上旬に前期選抜が実施され、定員に満たない学校で、3月下旬に後期選抜が実施されます。さらに、特色選抜と一般選抜という選抜方法の区分があります。特色選抜とは、五教科の学力試験に加えて、一芸に秀でた生徒が、それをアピールできる選抜方法です。一般選抜は、五教科(国・数・英・理・社)の学力試験のみによる選抜方法です。年々、特色選抜の募集枠が減っていることから、高等学校は、確かな学力をもつ生徒の入学を望んでいるということが分かります。

現在、期末テストの勉強を頑張っていることと思いますが、受験の際の提出書類には、一年生の成績も記録するようになっていきます。皆さん、今の積み重ねが、未来を切り開きます。未来の自分が、エールを送っていますよ。



来週の予定

15日(月)～18日(木)は期末テスト準備期間のため、部活動中止です。

15日(月)	15:50下校	18日(木)	期末テスト第1日目・弁当	15:50下校
16日(火)	15:50下校	19日(金)	期末テスト第2日目	14:50下校
17日(水)	15:30下校	三者教育相談「希望日時アンケート」は、15日(月)までご提出ください。		